

科目名	映像史					単位	2.0
担当教員	溝渕 久美子						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	3219

●授業のテーマ

映画の誕生までのテクノロジーと初期映画、古典的ハリウッド映画の表現とアメリカ映画産業の歴史を理解する。また、ヨーロッパやロシア（ソ連）、日本の映画についての知識も得る。

●到達目標

第二次世界大戦までの古典的ハリウッド映画や日本映画、ヨーロッパ映画について、それぞれの映画の個別の知識を得るだけでなく、互いに関連させ、比較してとらえられるようにする。

●学習内容(授業概要)

講義を中心に授業を進める。授業の内容に合わせて映像資料の視聴も行う。

●学習内容(授業計画)

1. はじめに
2. 映画以前のテクノロジー フィルム、カメラ、映写機、動く映像
3. 映画の誕生と初期映画(1) エジソンとリュミエール
4. 映画の誕生と初期映画(2) メリエスとポーター
5. 古典的ハリウッド映画とその表現(1) 「ハリウッド」の誕生
6. 古典的ハリウッド映画とその表現(2) 古典的ハリウッド映画の表現
7. トーキー以降の古典的ハリウッド映画(1) 映画に音がつくとはどういうことか？
8. トーキー以降の古典的ハリウッド映画(2) 映画ジャンルと自主規制
9. 映画と戦争・アメリカ編
10. ドイツ表現主義、ロシアアヴァンギャルド
11. 日本映画(1) 映画の輸入と既存の芸能・文学との関係
12. 日本映画(2) 純映画劇運動と芸術映画、外国映画の影響
13. 日本映画(3) 日本のトーキー映画とその表現
14. 日本映画(4) 映画と戦争・日本編①
15. 日本映画(5) 映画と戦争・日本編②

●準備学習・事後学習の内容

講義後、各自講義で取り上げた映画を鑑賞することが望ましい。

●成績評価方法・基準

授業参加度・貢献度 20%、小テスト・期末テスト 80%

●テキスト(必携)

講義中、プリントとして配布する。

●参考文献／その他

講義中で、必要な文献を適宜指示する。

●履修上の注意

講義を一方向的に聞くだけではなく、積極的な発言をしてください。